

平成 16 年度 / 第 5 回 理事会 議事録

日 時 平成 17 年 3 月 9 日 (水) 15 時 ~ 17 時

場 所 電気学会 第 1 ~ 3 会議室

出席者：川村会長，長谷川会長代理，鈴木・生駒・雨谷・尾形 各副会長，臼田・高木・松瀬・佐々木 各常務理事，村岡専務理事，井上・石井・下位・大西 各部門長，森泉 E 準部門長，西谷・前川（代理：大澤氏）・塚本・松井・作井・島崎・白髭（代理：為汲氏）・原田（代理：竹垣氏）・芦塚（代理：森田氏）各支部長，平塚・貞川 各監事
オブザーバ：西上・戸谷・後藤
事務局：櫛間事務局長，蘆立事務局長代理，他 5 名

配布資料

平成 16 年度 / 第 4 回 理事会 議事録 (案)

1. 平成 16 年度事業実績と平成 17 年度事業計画〔概要〕
2. 平成 17 年度役員選挙開票結果
3. 技術者倫理検討委員会（仮称）の新設について
4. 共通英文論文誌の発行について
5. 事業維持員代表評議員の交代について
6. 2004 年 12 月 ~ 2005 年 2 月会員入(退)会の承認について
7. 平成 16 年度 業務監査の実施について
8. 平成 16 年度 名誉員の推薦について
9. 世界物理年イベント案内「めざせ！未来のインシュタイン」
10. 社団法人電気学会 第 93 回通常総会における「新会長演説」および「特別講演」
11. 平成 17 年度「環境技術協議会（仮称）」設立への対応について（報告事項）
12. 日本機械学会と電気学会との意見交換会〔概要報告〕
13. 「平成 16 年度 第 2 回 電気・情報関連学会 連絡協議会」〔概要報告〕
14. 北海道支部役員の交代について
15. 「電気技術史特別委員会」終了趣意書
16. 事業概況報告
17. 平成 17 年電気学会全国大会開催のご案内について

議事概要

臼田総務企画理事の議事進行により議案の審議に入った。

1. 前回議事録の確認

資料「平成 17 年度 / 第 4 回 理事会議事録 (案)」に基づき，臼田総務企画理事から事前に配布してすでに確認いただいているが，さらなる修正箇所等の確認の結果，異議なく承認された。

2. 審議事項

2.1 平成 16 年度事業実績と平成 17 年度事業計画について

村岡専務理事から資料 1「平成 16 年度事業実績と平成 17 年度事業計画〔概要〕」に基づき，次の項目を中心に説明があり審議の結果，意見があれば村岡専務理事宛に電子メールで連絡することとした。

(1) 平成 16 年度事業報告実績関係

部門の独自性を発揮した活動活性化
「部門役員制度適正化 WG」の発足

国際活動委員会活動の活性化

第 10 回 ICEE (電気技術国際会議) 2004 札幌大会の開催

部門 (論文) 誌の電子ジャーナル化

論文誌 5 誌を電子ジャーナル化し J-Stage への掲載

人材育成の推進

「JABEE 審査実行部会」, 「JABEE 普及支援部会」, 「センター構想検討部会」の設置

出版事業の活性化

「教科書・専門書部会」, 「技術啓発書部会」の再構築

一般社会人向けシンポジウムの開催

「欧米大停電の教訓は何か?」の開催

若年層への啓発活動

国連が提唱する「2005 年世界物理年」日本委員会の各種行事参加

学会組織・運営基盤の強化

「経営戦略会議」, 「企画委員会」での業務改革

購買力の向上

「発注課」を牽制し, 「契約課」機能を既存の課 (総務課, 出版販売課) に付加

OA システム更新

平成 17 年 5 月に「学会 OA 更新システム」の運開に向けた「システム機能仕様」の「要件定義」~「詳細設計」の推進

支部事業の推進

「支部交付金検討 WG」の設置・検討

広範な学会活動の推進

「電気・情報関連学会連絡協議会」による「共同ホームページ」の開設・情報発信

(2) 平成 17 年度事業計画関係

部門の独自性を発揮した活動活性化

- ・ 部門の独自性を発揮した運営方針に従い総合効率の向上
- ・ 「部門役員制度適正化 WG」からの答申に従った「部門組織の柔軟性運用」の実行

国際活動委員会活動の活性化

- ・ 「ICEE Technical Committee(TC)」設置の日本提案

産学連携プロジェクト推進

- ・ 「産学連携に関連する活動の情報交換の場の設置」, 「産学共同研究プロジェクトの受託事務局体制」の検討

部門 (論文) 誌の電子ジャーナル化

- ・ 「英文 Extended Summary」を論文のトップページに添付・国際化

若年層への啓発活動

- ・ 「世界物理年 2005」として各種イベントに参加

学会組織・運営基盤の強化

- ・ 会員増員キャンペーンの実施
- 「予算方式の見直し WG」からの答申案の展開
- ・ 「配賦方式」のコンセンサスの構築
- 「iee-OA システム (仮称/OA 更新システム)」の運用開始
- ・ 事務局業務の効率化, 会員オンラインサービスの充実を目指した「新 OA システム」の運用開始

【参考: 主なご意見】

- ・ 平成 17 年度事業計画(2. 国際活動委員会活動の活性化)において, 4 月 4 ~ 8 日に IPEC 新潟が開催される。
- ・ 平成 16 年度の事業の計画に対して実施できたのかできてないのかを明確に記載してほ

しい。

2.2 平成 17 年度役員選挙開票結果について

村岡専務理事から資料 2「平成 17 年度役員選挙開票結果」に基づき本部・部門・支部役員候補者等の開票結果について説明があり審議の結果，承認された。

2.3 技術者倫理討委員会（仮称）の新設について

村岡専務理事から資料 3「技術者倫理討委員会（仮称）の新設について」に基づき次のとおり説明があり，審議の結果，「技術倫理協議会」への参加，「技術者倫理検討委員会（仮称）」の設置が承認された。

- ・ 10 関連学会で構成する「技術倫理協議会」から電気学会の委員登録の要請があり委員を派遣したい。
- ・ 当学会内に「技術者倫理検討委員会（仮称）」を設置したい。

【出された主な質疑：Q，A / 意見：C】

Q：電気学会会員個人・学会活動どちらの倫理が検討対象なのか？

A：技術者としての会員個人を対象として検討する。

Q：「技術者倫理検討委員会（仮称）」の委員人選はどのように行うのか？

A：電力会社・大学・企業等の広い分野から人選したい。

Q：もう少し委員が少ない方がよいのではないか？

A：広い分野の委員構成としたい。今後は幹事会や WG で活動する。

C：広い範囲を検討する委員会なので実際に活動しながら取捨選択すればよい。

Q：技術倫理協議会は活動を始めてから時間がたっているが，なぜこの時期に参加するのか？

A：以前参加要請があったが，電気学会としての受け皿がなかったためペンディングとしていた。

2.4 共通英文論文誌の発行について

雨谷副会長から資料 4「共通英文論文誌の発行について」に基づき次のとおり説明があり，審議の結果，原案通りに共通英文論文誌の発行が承認された。

- ・ 平成 18 年 5 月号より発行を開始し，当面は奇数月ごとの隔月発行とする。また毎号特集号とし，学会誌編修委員会，各部門編修委員会が分担して具体的企画を立てる。
- ・ 共通英文論文誌向けに投稿された論文の掲載別刷代（掲載料）は，通常の半額とする。
- ・ 年間 250～300 万円の支出超過になることが想定されるが，この分については学会誌編修委員会と各部門で均等に負担していただく。

【出された主な質疑：Q，A / 意見：C】

Q：招待論文でも投稿料は発生するのか？

A：現段階では検討中だが，別刷を作成し，別刷代として徴収する予定である。

2.5 事業維持員代表評議員の交代

事務局から資料 5「事業維持員代表評議員の交代について」に基づき説明があり，審議の結果，次のとおり承認された。

退任：岩田 善輔氏（古河電気工業・現）原子燃料工業社長）

新任：黒川 通豊氏（古河電気工業，常務取締役）

2.6 会員入(退)会の承認について

櫛間事務局長から資料6「2003年12月～2004年1月会員入(退)会の承認について」に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

・個人会員入会者数	598名
・個人会員退会者数	516名
・事業維持会員入会数	1社(1口)
・事業維持会員退会数	7社(16口)
・事業維持会員口数変更	0社(0口)

なお、平成17年2月末の会員数は、個人会員25,254名、事業維持会員481社(3,354口)であるが、年度末の時点では大幅な退会者が想定されるとのことであった。

また、事業維持員「退会」・「口数減口」申し出リスト(今回報告分)の中で、次の4社についてはそれぞれ下記の通り引留要請者を決定した。なお、事業維持員の退会や口数減口の申し出については、今後は毎月メールでお送りしている「事業概況報告」の中で報告して、可及的速やかな対応を取ることとした。

・日立ハイブリッドネットワーク(株)	鈴木副会長
・戸畑共同火力(株)	芦塚(森田氏)九州支部長
・三菱重工業(株)	尾形副会長
・ニシム電子工業(株)	芦塚(森田氏)九州支部長

3. 報告事項

3.1 平成16年度 業務監査実施報告について

平塚監事から資料7「平成16年度 業務監査の実施について」に基づき、去る2月16日に平成16年度 業務監査を実施し、今後3月末までの実績値を反映させ、関係会議体へ報告等を行っていくとの実施報告があった。

3.2 名誉員の推薦について

村岡専務理事から資料8「平成16年度 名誉員の推薦について」に基づき、総務・規程1-1「名誉員の推薦規程細目」に則り、今後は評議員会の評議を経て次の2名を名誉員に推薦することになるとの報告があった。

・種市 健氏	(平成14年5月～平成15年5月会長/東京電力)
・河村 達雄氏	(昭和60年5月～昭和62年5月副会長/芝浦工業大学)

3.3 「世界物理年」春休みイベントへの参加について

桂井東大名誉教授から資料9「めざせ未来のアインシュタイン」に基づき、世界物理年日本委員会春休みイベントの紹介があり、3月21、22日には科学技術館にてトークショー&ブース出展「- 放電プラズマってなんだろう? -」が開催されるので、ご家族でご参加して頂きたい旨、説明があった。

3.4 第93回通常総会における「新会長演説」および「特別講演」について

尾形副会長、事務局から資料10「社団法人 電気学会 第93回通常総会における「新会長演説」および「特別公演」開催のご案内」に基づき、その概要の報告があった。

3.5 「環境技術協議会(仮称)」の活動への参加について

蘆立事務局長代理から資料11「「環境技術協議会(仮称)」の活動への参加」に基づき、「環境技術協議会(仮称)」への対応について下記の報告があった。

- ・当初活動を予定していた環境技術協議会(仮称)は、平成17年度以降、当座はNPO法

人とはしないこと、緩やかな連携体として活動すること、事務局を化学工学会から他の団体に移行することとし、活動することになった。2月14日までに各学協会としての参加・不参加の意志を経産省に連絡することになった。

- ・ 電子メール審議により、議決権のある理事24名のうち、過半数を越える19名の方々より参加の承認をいただいたことから、経産省に対し、「電気学会は、環境技術協議会（仮称）がNPO法人格を持たない緩やかな連携体として活動することを条件に、環境技術協議会（仮称）の活動に参加する」と回答した。

3.6 日本機械学会との包括的協力に関する懇談会報告について

村岡専務理事から資料12「日本機械学会との包括的協力に関する懇談会報告」に基づき、両学会共通の課題として「技術継承施策」、「学会啓発」、「国際情報発信」について今後定期的に意見交換を行っていく旨、報告があった。

3.7 「電気・情報関連学会連絡協議会」報告について

村岡専務理事から資料13「電気・情報関連学会連絡協議会」報告に基づき、次のような報告があった。

- ・ 電気・情報関連学会の共通ホームページを1月28日に公開した。
- ・ 電気・情報関連学会連絡協議会の平成17年度当番学会は、電気学会である。

3.8 北海道支部役員の交代について

事務局から資料14「北海道支部役員の交代」に基づき、次のとおり北海道支部協議員の交代を支部役員会で承認したとの報告があった。

先名 康治氏（王子製紙）→ 猪又 祐一氏（王子製紙）

3.9 「電気技術史特別委員会」終了報告について

電気技術史技術委員会幹事助田殿から資料15「電気技術史特別委員会」終了報告に基づき、次の通り報告があった。

- ・ 電気情報関連5学会連携により平成14年5月に発足した「電気技術史特別委員会」が成果を得たことにより終了する。
- ・ 本特別委員会活動は、新設の「電気電子・情報関連技術史委員会」に引き継がれる。
- ・ 関連する活動として「電気学会卓越DB推進委員会（仮称）」を設置し、関連学会との連携をとる。

3.10 事業概況報告について

榎間事務局長から資料16「事業概況報告」に基づき、学会誌・部門誌の掲載ページ数、図書出版、研究調査会・電気規格調査会の委員会開催数などについて、平成16年4月から平成17年2月まで（図書出版・電気規格調査会関係委員会・研究調査会関係委員会のうち研究会の開催数は平成17年2月まで、その他の研究調査会関係委員会開催数は半期ごとの報告のため、平成16年9月まで）の実績報告があった。

3.11 平成17年全国大会について

事務局から資料17「平成17年電気学会全国大会開催のご案内について」に基づき、出展三角くじを利用した抽選会を初めて行うなど説明があり、広くお近くの皆様へお声がけ頂きたい旨、依頼があった。

以上、すべての議案の審議を終了し17時閉会した。